

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 15号)

2026年3月4日発行

兵庫のみ研究所

海域全般にギナルディアやキートセロス、スケルトネマ等が確認され、別府漁場以西でやや多いですが、全般には珪藻の発生量は少ない状況です。窒素は、3/2~3/3にかけての降雨(明石:14.5mm)後や上げ潮での調査であったことから、漁場全般にやや上昇しており、陸水の影響が見られる海域地先で概ね2~7 $\mu\text{g at/L}$ 台、その他の海域で概ね1~2 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場内平均9.8℃ (平年比0.2℃、昨年比1.5℃ともに高い)。(塩分) 平均32.78psu。前回(32.77)より0.01psu高い。

(珪藻、栄養塩)

ギナルディアやキートセロス、スケルトネマが海域西部を中心にやや多く確認されるが、全般には珪藻の発生量は少なく、ユーカンピアも確認されなかった。

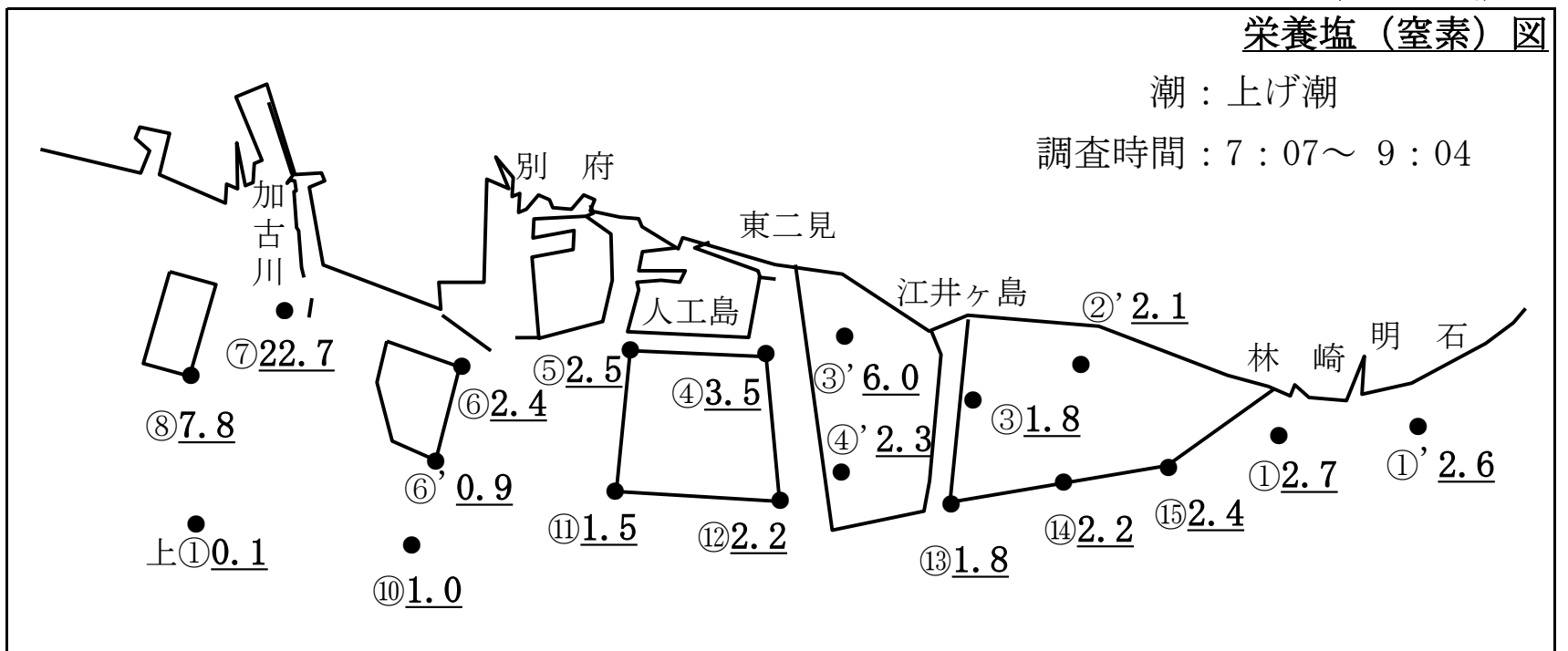
海域地先(魚住鋼管漁場~高砂漁場)では、陸水の影響が強く見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.5	9.8	9.6	8.3
窒素	2.5	3.0	3.6	5.3
リン	0.32	0.36	0.36	0.48

(2/25) (3/5)

2026年3月4日調査

栄養塩(窒素) 図



水温図

